

環境経営レポート

(対象期間：2023年7月～2024年6月)



潮工場に近い潮山登山道より、藤枝工場方面を望む

2024年 12月10日発行 【第18版】

 **八木工業(株)**

目次

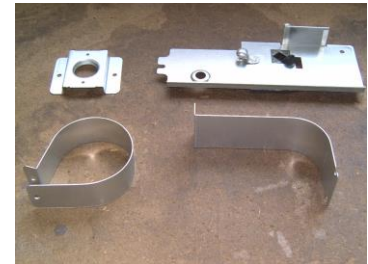
No.	項 目	頁
1.	組織の概要	1
1. 1	会社概要	1-1
1. 2	沿 革	1-1
1. 3	製品概要	1-1
1. 4	エコアクション21対象範囲	1-1
1. 5	経営方針	1-1
1. 6	敷地概要	1-2
1. 7	エコアクション21の実施体制の構築	1-3
2.	環境経営方針	2
3.	環境経営目標とその実績	3
4.	環境経営計画の実績とその評価	4
5.	環境経営目標の取組結果とその評価	5
6-1.	次年度以降の環境経営目標	6
6-2.	次年度の環境経営計画	7
7.	環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	8
8.	代表者による全体評価と見直し・指示	9



1. 組織の概要

1.1 会社概要

会社名	:	八木工業株式会社
代表者	:	会長 八木 博
	:	社長 大川 悟(環境管理責任者)
設立	:	1969年12月
資本金	:	1,000万円
従業員数	:	50名
本社(登記上)	:	静岡県駿河区小鹿3-8-7
藤枝工場	:	静岡県藤枝市横内800-19
敷地/延床	:	2,100㎡/1,500㎡
潮工場	:	静岡県藤枝市潮331-1
敷地/延床	:	1,626㎡/1,067㎡
TEL(藤枝工場)	:	054-643-2033
FAX(藤枝工場)	:	054-643-1242
メールアドレス	:	yagikogyo@po3.across.or.jp
環境管理責任者	:	大川 悟



プレス加工品



組立加工品

1.2 沿革

1954年9月	:	静岡市長沼にて「八木工業所」創業
1960年	:	静岡市小鹿に工場建設・移転
1969年12月	:	「八木工業株式会社」となる
1973年	:	藤枝市横内の藤枝工業団地内に藤枝工場建設・開設
1986年	:	静岡市登呂に登呂工場開設
1999年	:	登呂工場を閉鎖し、藤枝工場に統合
2007年12月13日	:	エコアクション21認証・登録(No.0002075)
2014年	:	藤枝市潮に潮工場開設
2016年	:	本社の倉庫・出荷業務を藤枝へ集約



タレットパンチ・レーザ複合機

1.3 認証・登録の対象活動範囲(製品概要)

- ・家電(空調機・冷蔵庫等)・事務機器・建築等の金属部品の製造
プレス・板金・溶接・組立等各種加工
- ・試作品・開発品(非量産部品)の製作
タレットパンチプレス・レーザ加工機による板金加工
- ・金型製作
本型・仮型・試作型

1.4 エコアクション21対象範囲

- ・主たる事業所(認証・登録日)
藤枝工場 : 2007年12月13日
- ・対象事業所(対象開始日)
本社 : 2010年7月1日
(現在は登記上本社の為、対象範囲外)
- 潮工場 : 2014年7月1日

1.5 経営方針

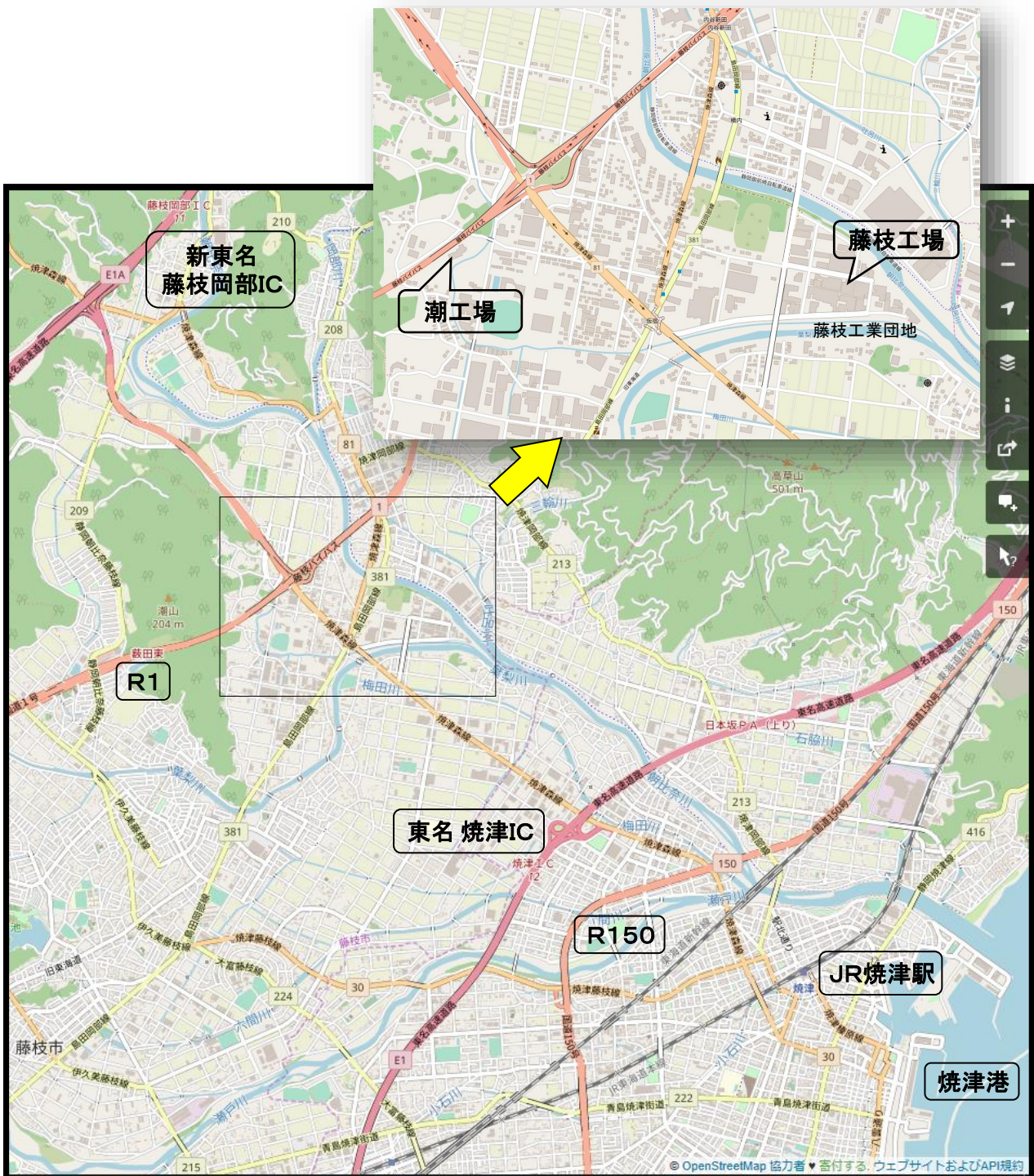
『多品種少ロットで
高品質製品の生産に対応』



タレットパンチプレス(自動搬出装置付)

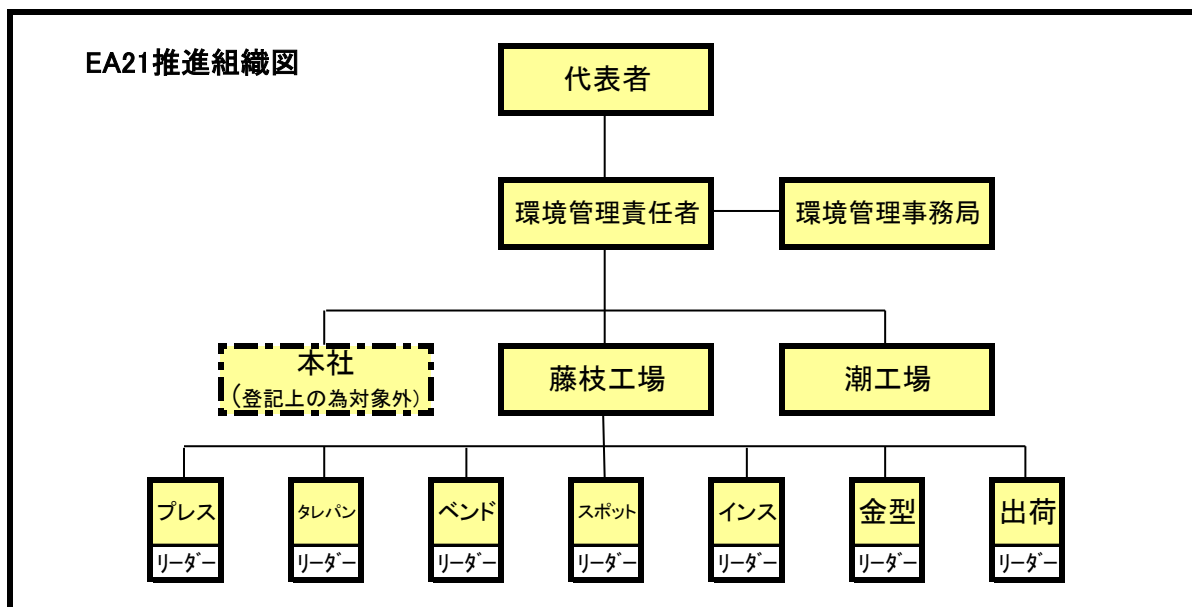
1.6 敷地概要

		藤枝工場	潮工場
都市計画法での用途地域指定		工業専用地域	市街化調整区域
静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定	騒音	第4種区域	第2種区域
	振動	第2種区域の2	第1種区域の2



1-2.敷地概要

1.7 エコアクション21の実施体制の構築



環境経営システムの役割・責任及び権限

該当者	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・会社経営の一環として環境経営システムを統括する ・必要な人材・設備・資金・時間等を適切に準備する ・環境管理責任者を任命し環境管理システムの実務上の権限を委任する ・実施体制の構築と全従業員への周知 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・必要に応じて環境内部監査チームを設置し、監査の実施の指示する及び監査結果の対応を環境管理責任者に指示する ・緊急事態発生時の統括 ・経営における課題とチャンス の明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システム全体の構築・運用・維持に関する実務上の権限・責任を持つ ・社長への環境管理システム全体の構築・運用・維持の状況の報告 ・環境目標・環境活動計画の策定と見直し ・環境方針・環境目標・環境活動計画の遂行 ・環境関連法規等の取りまとめと見直し ・社長へ代表による全体の評価と見直しに必要とする情報を報告する ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の対外的窓口 ・緊急事態発生時の指揮 ・中間審査・更新審査の受審査
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の役割全般の補助 ・環境経営システムの運用に係わるデータの収集・まとめ ・文書・記録類の管理
部門責任者(リーダー) リーダー不在時はサブリーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境経営システムの運用・維持 ・社長・環境管理責任者の指示・命令の伝達 ・自部門の環境関連法規等の遵守の徹底と状況把握 ・自部門の環境関連教育の実施 ・問題発生時の応急処置・是正処置・予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・環境目標・環境活動計画等の環境への取組みの遂行 ・環境関連法規等の遵守 ・地域社会の環境施策・行事への参加など社会貢献 ・家庭でのエコ生活・子供への環境教育

2. 環境経営方針

環境経営方針

【基本方針】

八木工業株式会社は、空調機・冷蔵庫等の金属部品の製造を通じて事業活動に伴う環境負荷を把握し、持続可能な社会を実現するための会社づくりに取り組みます。

【環境保全への行動指針】

1. 創意工夫等に励み、数値管理等により継続的に環境負荷の削減に努めます。
 - 電力や燃料の使用量節約に努め、CO₂を削減します。
 - 3R（リデュース/リユース/リサイクル）に努め、廃棄物を削減します。
 - 節水に努め、水使用量を削減します。
 - 化学物質使用量を削減します。
 - 製品サービスにおける環境配慮として、材料の歩留り率向上と不良発生率低減に努め、鉄スクラップ排出量の削減に取り組みます。
2. 環境コミュニケーションの一環として、人材育成及び社会貢献活動に取り組みます。
3. 環境関連法規等を遵守します。
4. 環境経営目標・計画を策定して実行するとともに、定期的に見直します。
5. 環境に配慮した生産活動を中心に、環境経営の継続的な改善を行います。
6. この方針を全従業員に周知して実行するとともに、一般に公開します。

2007年 5月 1日 制定
2020年10月 1日 改定

八木工業株式会社
代表取締役 八木 博

3. 環境経営目標とその実績

事業年度:7月～翌年6月

目標項目	推進責任者	単位	基準値 2018年度 (または任意)	目標実績	目標値(対基準値比)と実績値				
					2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量削減(省エネ)									
二酸化炭素総排出量 (二酸化炭素排出係数 2018年度 中部電力 0.452kg-CO ₂ /kWh)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg-CO ₂	227,182		224,910	222,638	220,367	218,095	215,823
		%	—	実績	95%	89%	90%	93%	90%
		kg-CO ₂	—		216,006	201,754	204,809	211,925	205,317.21
二酸化炭素排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg-CO ₂ /t	208		206	204	202	200	198
		%	—	実績	122%	127%	117%	129%	133%
		kg-CO ₂ /t	—		253	265	243	267	277.15
【参考】生産量		t	1092.35		854.69	762.51	842.01	792.49	740.82
廃棄物排出量削減(3R推進)									
一般廃棄物総排出量 (可燃ごみ、新聞紙、 雑紙、ダンボール)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	6,896		6,827	6,758	6,689	6,620	6,551
		%	—	実績	75%	59%	55%	67%	66%
		kg	—		5,179	4,046	3,812	4,597	4,564
一般廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg/t	6.31		6.25	6.19	6.12	6.06	6.00
		%	—	実績	96%	84%	72%	92%	98%
		kg/t	—		6.06	5.31	4.53	5.80	6.16
産業廃棄物排出量 (木くず、廃プラ)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	3,415		3,381	3,347	3,313	3,278	3,244
		%	—	実績	69%	49%	82%	58%	64%
		kg	—		2,350	1,670	2,795	1,990	2,192
産業廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg/t	3.13		3.10	3.06	3.03	3.00	2.97
		%	—	実績	88%	70%	106%	80%	95%
		kg/t	—		2.75	2.19	3.32	2.51	2.9589
水使用量削減(節水)									
上水使用量 (藤枝工場+潮工場)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		m ³	590		584	578	572	566	561
		%	—	実績	102%	306%	98%	108%	102%
		m ³	—		600	1,803	580	637	600
化学物質使用量削減(PRTR制度対象物質削減)									
シンナーの購入量 (トルエン含有)	大川	%	100%	目標	96%	92%	88%	84%	80%
		リットル	48		46	44	42	40	38
		%	—	実績	67%	33%	67%	67%	133%
		リットル	—		32	16	32	32	64
製品・サービスへの環境配慮(自社テーマ)									
鉄スクラップ排出量 (再生資源)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	220,350		218,147	215,943	213,740	211,536	209,333
		%	—	実績	91%	85%	86%	96%	76%
		kg	—		201,070	187,630	190,440	212,190	168,520
鉄スクラップ排出率 (仕入量に占める割合)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		%	19		18.8	18.6	18.4	18.2	18.1
		%	—	実績	101%	104%	97%	111%	97%
		%	—		19.1	19.8	18.5	21.1	18.5

4. 環境経営計画の実績とその評価

※本年度の環境経営目標は、中長期経営目標(2023年度)に基づき実行した。

実行 →

事業年度: 7月～翌年6月

目標・計画 項目	推進部門	実行 責任者	2023年度 環境経営計画												実績 評価
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	1月	2月	3月	4月	5月	
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)															
1	機械・照明等の電源管理 終業時の切り忘れ確認	各部署	GL	各設備に正・副責任者を表示、			○	照明スイッチに節電呼びかけを表示					○		
2	エアコンの運転効率化 フィルターの定期清掃	各部署	GL	清掃・点検			○	清掃・点検			清掃・点検			○	
3	電力供給監視 システムの有効利用	事務所	社長	デマンド監視中の藤枝工場目標最大電力を			○	130kWに設定し契約電力を維持する					○		
4	省エネ設備の推進 エコ家電・LED照明導入	事務局	社長	潮工場水銀灯のLED化検討・実施			○	潮工場GHPエアコンのEHP化検討・実施					△		
5	エコドライブ推進 ムダの無い配送計画	配送	GL	毎夕配送会議を開催し翌日の納品を把握、			△	効率的な配送を心掛ける(燃費集計)					△		
6	潮工場のCO2削減 GHPエアコン稼働管理	潮工場	GL他	エアコンを効率的に稼働させる			△	(過剰設定の管理等)					△		
廃棄物排出量削減 (3R推進)															
7	ゴミの分別 分別化の継続	各部署	GL	分別の再徹底 再周知			○	状況確認			見直し			○	
8	廃却木パレットの削減 納入元への返却	資材外注 管理	事務所 ・出荷	パレットに入荷元の社名を記載し、			○	確実に入荷元に引取ってもらう					○		
9	コピー用紙の削減 ペーパーレス化	事務所	会長	資材管理システム等パソコンを有効活用し、			△	紙での出力削減					×		
水使用量削減 (節水)															
10	水道水の節水 センサー式更新・漏水対策	事務局	社長	潮工場漏水対策として、			○	終業後は元栓を閉める					○		
11	トイレの節水 タンク内にペットボトル設置	事務局	社長	個室タンク内に設置中			○	個室タンク内に設置中					○		
化学物質使用量削減 (PRTR制度対象物質削減)															
12	シンナーの管理	各部署	GL	油類保管庫にて保管			○	油類保管庫にて保管					○		
製品・サービスへの環境配慮 (自社テーマ)															
13	鉄スクラップの削減(1) 歩留りの向上	プレス・ クランプ	GL	「環境に関する提案票」制度利用の継続			×	(褒賞金制度実施中)					×		
14	鉄スクラップの削減(2) 不良発生削減	各部署	GL	不良発生・流出の削減(月毎に件数・内容集)			△	翌月礼にて報告、掲示にて見える化					△		
全体的な活動															
15	教育・訓練の実施(1) 従業員への周知・教育	各部署	社長	全体集会・更新審査			○						—		
16	教育・訓練の実施(2) 緊急事態対応訓練	各部署	社長	訓練・教育実施			○	訓練・教育実施					△		
17	教育・訓練の実施(3) 生産性向上・品質改善	各部署	社長	問題抽出			△	改善		ピーク生産			×		
18	働き方改革への対応 就業規則の刷新	事務所	社長	同一労働同一賃金ほか 健康経営の、			△	取組検討		若い人材の確保検討			×		
19	IoT・DX推進 デジタル化による業務効率化	事務所	社長	インボイス・電帳法対応 設備稼働状況			○	可視化		ファイルサーバー等導入検討			△		
備考	<p>※本年度の環境経営計画の項目の大半は2022年度の継続であるが、その中で前年度から 実行中の潮工場の省エネ化のLED照明等の導入を優先した。</p> <p>※黄色にて塗りつぶしの項目は、今年度の推進・強化活動</p>												<p>※評価について ○: 実行 △: 概ね実行 ×: 不十分</p>		

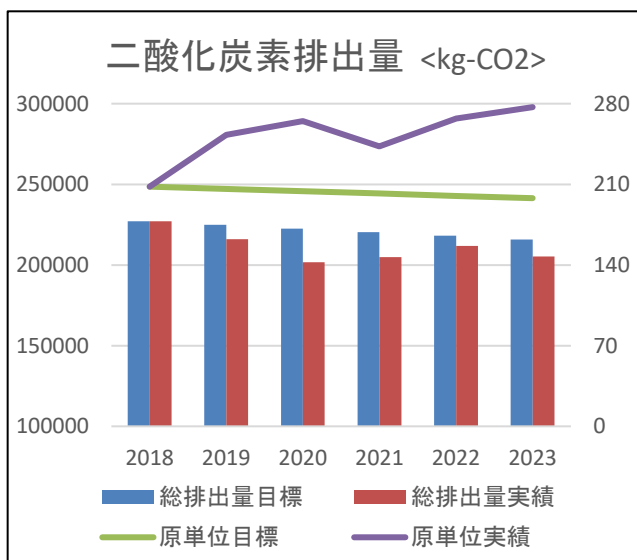
5. 環境経営目標の取組結果とその評価

事業年度：7月～翌年6月

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2022年度	2023年度			
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)		目標率	100%	96%	95%			
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	目標値	—	218,095	215,823	90%	◎	97%
		実績値	227,182	211,925	205,317			
生産量1トン当たりの 排出量	kg-CO ₂ /t	目標値	—	200	198	133%	×	104%
		実績値	208	267	277			

購入電力(※)	kg-CO ₂	藤枝工場	121,263	108,759	100,047	83%	—	92%
		潮工場	20,589	19,551	18,915	92%	—	97%
化石燃料	kg-CO ₂	ガソリン	11,738	4,881	3,796	32%	—	78%
		軽油	43,797	46,388	47,546	109%	—	102%
		LPG	29,795	32,345	35,013	118%	—	108%

※二酸化炭素排出係数:0.452kg-CO₂/kWh(2018年度 中部電力)

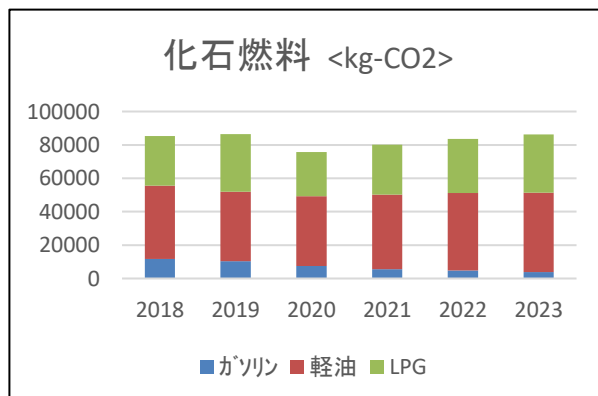
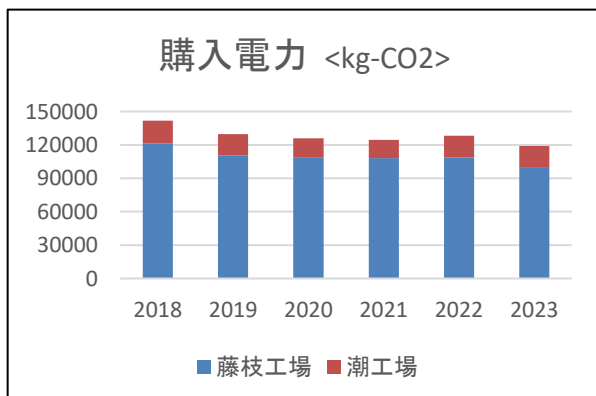


<評価>

- ・ 2018年度の実績値をベンチマークとして、目標値設定
- ・ 二酸化炭素総排出量は、前年度比減且つ目標達成も、原単位では目標達成できず、前年度比も増加した。工場内水銀灯のLED化の効果はあったと思われるが、生産量の減少が原単位に影響を及ぼしている模様。
- ・ ガソリン減少は、フォークリフトの電動化推進による。
- ・ 軽油増加は、藤枝-潮間の配送が増えた為と思われる。
- ・ LPG増加は、潮工場GHPエアコン更新の影響が期の途中で全体的な減少に繋がらなかった事が要因と思われる。

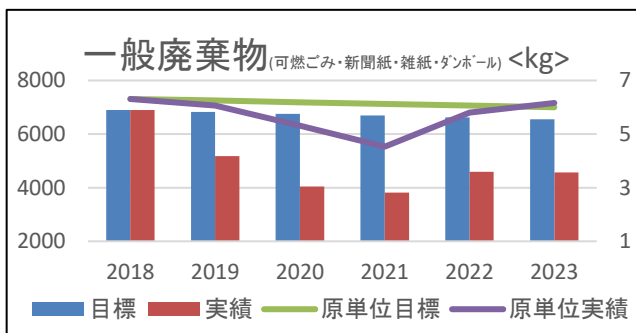
<見直し>

- ・ 藤枝/潮工場内水銀灯のLED化が完了したことで、二酸化炭素総排出量の削減に繋がった。
- ・ GHPエアコンのEHP化も順次進めており、LPGの削減は本年度以上に来年度の効果が期待できる。
- ・ 軽油使用量が増えている為、配送の効率化については引き続き強化していきたい。



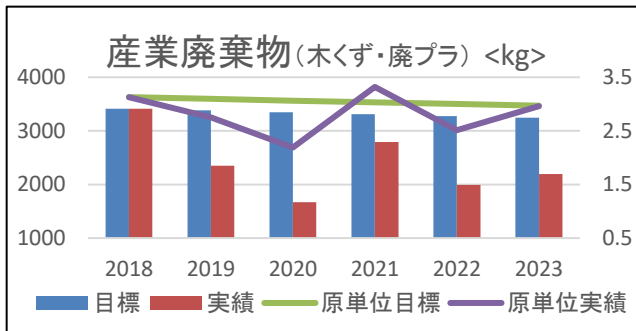
目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2022年度	2023年度			
廃棄物排出量削減 (3R推進)		目標率	100%	96%	95%			
一般廃棄物(可燃ごみ、 新聞紙、雑紙、ダンボール)	kg	目標値	—	6,620	6,551	66%	◎	99%
		実績値	6,896	4,597	4,564			
生産量1トン当たりの 排出量	kg/t	目標値	—	6.06	6.00	98%	×	106%
		実績値	6.31	5.80	6.16			

産業廃棄物 (木くず、廃プラ)	kg	目標値	—	3,278	3,244	64%	○	110%
		実績値	3,415	1,990	2,192			
生産量1トン当たりの 排出量	kg/t	目標値	—	3.00	2.97	95%	○	118%
		実績値	3.13	2.51	2.96			



<評価>

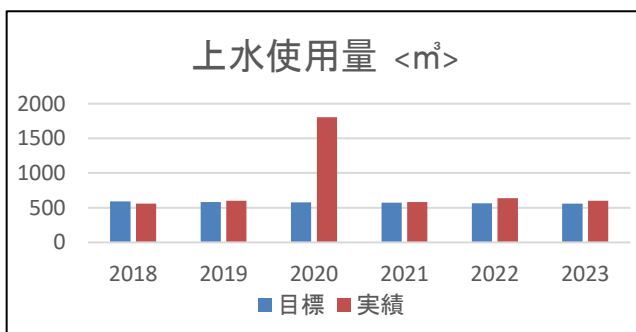
- 一般廃棄物については、総排出量で目標達成も、原単位では目標にわずか及ばず、前年比増となった。CO2同様、生産量の減少が要因と思われる。
- 産業廃棄物については、総排出量でも原単位でも目標達成するも、前年度比では増加となった。木くずも廃プラも専用容器が一杯になると処分依頼する為、正確には年度毎の集計にはなっておらず、年度によってバラつきが出るものと思われる。



<見直し>

- 一般廃棄物については、引き続き分別の徹底、梱包・緩衝材の再利用推進により、排出量削減に取り組んでいく。
- 木くずについては、引き続き納入元への返却を続けていく。

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2022年度	2023年度			
水使用量削減 (節水)		目標率	100%	96%	95%			
上水使用量	m ³	目標値	—	566	561	102%	△	94%
		実績値	590	637	600			



<評価>

- 今年度は潮工場埋設給水管の漏水事故はなかったが、上水使用量は目標未達、昨年度微減に留まった。潮工場の人件比率が上がったことが原因と思われる。

<見直し>

- 今年度の実績値をベンチマークとして、次の5年間の目標値を算出し直す。

※ 水使用量のベンチマークは、過去の実績値を基に算出

5.取組結果(グラフィック)

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2022年度	2023年度			
化学物質使用量削減		目標率	100%	88%	84%			
シンナー購入量	リットル	目標値	—	40	38	133%	×	200%
		実績値	48	32	64			

化学物質(シンナー購入量) <L>

<評価>

- ・シンナーは1缶16リットル毎の購入となる為、増減幅が大きくなってしまい、今回は大幅増となってしまった。

<見直し>

- ・シンナーは購入量で算出する為、目標値での比較が難しいが、引き続き使用量削減に努めると共に、代替材の検討も行っていく。

※ シンナー購入量のベンチマークは、過去の実績値を基に算出

目標項目	単位		基準年度	前年度	本年度	取組結果 (実績率)	◎○:達成 △×:未達	備考 (前年度比)
			2018年度	2022年度	2023年度			
自社テーマ		目標率	100%	96%	95%			
鉄スクラップ排出量	kg	目標値	—	211,536	209,333	76%	◎	79%
		実績値	220,350	212,190	168,520			
鉄スクラップ排出率 (排出量/仕入量)	%	目標値	—	18.2	18.1	97%	△	88%
		実績値	19.0	21.1	18.5			

鉄スクラップ <左kg/右%>

<評価>

- ・生産量減少により、排出量では目標達成となった。
- ・排出率でも、目標値にわずか及ばなかったものの、前年度比でも改善された。

<見直し>

- ・定尺加工での歩留まり率向上や、不良発生率の削減、材料仕入量の圧縮等にて、効率化を進めていきたい。

※ 鉄スクラップ率のベンチマークは、過去の実績を基に算出

5.取組結果 (グラフィック)

6-1. 次年度以降の環境経営目標

次年度から事業年度が9月～翌年8月に変更になりました。

事業年度：9月～翌年8月

目標項目	推進責任者	単位	基準値	目標実績	目標値(対基準値比)と実績値				
			2023年度		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
二酸化炭素排出量削減(省エネ)									
二酸化炭素総排出量 (二酸化炭素排出係数 2022年度 中部電力ミライズ 0.459kg-CO ₂ /kWh)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg-CO ₂	207,160		205,088	203,016	200,945	198,873	196,802
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg-CO ₂	—						
二酸化炭素排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg-CO ₂ /t	280		277	274	271	268	266
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg-CO ₂ /t	—		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
【参考】生産量		t	740.82						
廃棄物排出量削減(3R推進)									
一般廃棄物総排出量 (可燃ごみ、新聞紙、 雑紙、ダンボール)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	4,564		4,518	4,473	4,427	4,381	4,336
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg	—						
一般廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg/t	6.16		6.10	6.04	5.98	5.91	5.85
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg/t	—		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
産業廃棄物排出量 (木くず、廃プラ)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	2,192		2,170	2,148	2,126	2,104	2,082
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg	—						
産業廃棄物排出量 (生産量1トン当たり)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg/t	2.96		2.93	2.90	2.87	2.84	2.81
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg/t	—		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
水使用量削減(節水)									
上水使用量 (藤枝工場+潮工場)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		m ³	600		594	588	582	576	570
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		m ³	—						
化学物質使用量削減(PRTR制度対象物質削減)									
シンナーの購入量 (トルエン含有)	大川	%	100%	目標	96%	92%	88%	84%	80%
		リットル	64		61	59	56	54	51
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		リットル	—						
製品・サービスへの環境配慮(自社テーマ)									
鉄スクラップ排出量 (再生資源)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		kg	168,520		166,835	165,150	163,464	161,779	160,094
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		kg	—						
鉄スクラップ排出率 (仕入量に占める割合)	大川	%	100%	目標	99%	98%	97%	96%	95%
		%	18.5		18.3	18.1	17.9	17.8	17.6
		%	—	実績	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
		%	—						

6-2. 次年度の環境経営計画

※次年度の環境経営目標は、中長期経営目標(2024年度)に基づき実行する。

計画 →

事業年度:9月～翌年8月

目標・計画 項目	推進部門	実行 責任者	2024年度 環境経営計画												実績 評価	
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
二酸化炭素排出量削減 (省エネルギー)																
1	機械・照明等の電源管理 終業時の切り忘れ確認	各部署	GL	各設備に正・副責任者を表示、						照明スイッチに節電呼びかけを表示						
2	エアコンの運転効率化 フィルターの定期清掃	各部署	GL	清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検			清掃・点検			
3	電力供給監視 システムの有効利用	事務所	社長	デマンド監視中の藤枝工場目標最大電力を						130kWに設定し契約電力を維持する						
4	省エネ設備の推進 エコ家電・LED照明導入	事務局	社長	潮工場GHPエアコンの一部EHP化実施						生産設備の高効率・省エネ化を検討する						
5	エコドライブ推進 ムダの無い配送計画	配送	GL	毎夕配送会議を開催し翌日の納品を把握、						効率的な配送を心掛ける(燃費集計)						
6	潮工場のCO2削減 GHPエアコン稼働管理	潮工場	GL他	エアコンを効率的に稼働させる						(過剰設定の管理等)						
廃棄物排出量削減 (3R推進)																
7	ゴミの分別 分別化の継続	各部署	GL	分別の再徹底			再周知			状況確認			見直し			
8	廃却木パレットの削減 納入元への返却	資材外注 管理	事務所 ・出荷	パレットに入荷元の社名を記載し、						確実に入荷元に引取ってもらう						
9	コピー用紙の削減 ペーパーレス化	事務所	会長	資材管理システム等パソコンを有効活用し、						紙での出力削減						
水使用量削減 (節水)																
10	水道水の節水 センサー式更新・漏水対策	事務局	社長	潮工場漏水対策として、						終業後は元栓を閉める						
11	トイレの節水 タンク内にペットボトル設置	事務局	社長	個室タンク内に設置中						個室タンク内に設置中						
化学物質使用量削減 (PRTR制度対象物質削減)																
12	シンナーの管理	各部署	GL	油類保管庫にて保管						油類保管庫にて保管						
製品・サービスへの環境配慮 (自社テーマ)																
13	鉄スクラップの削減(1) 歩留りの向上	プレス・ 外ハン	GL	「環境に関する提案票」制度利用の継続						(褒賞金制度実施中)						
14	鉄スクラップの削減(2) 不良発生削減	各部署	GL	不良発生・流出の削減(月毎に件数・内容集)						翌月礼にて報告、掲示にて見える化)						
全体的な活動																
15	教育・訓練の実施(1) 従業員への周知・教育	各部署	社長	全体集会・更新審査												
16	教育・訓練の実施(2) 緊急事態対応訓練	各部署	社長	訓練・教育実施			訓練・教育実施			訓練・教育実施						
17	教育・訓練の実施(3) 生産性向上・品質改善	各部署	社長	問題抽出						改善			ピーク生産			
18	働き方改革への対応 就業規則の刷新	事務所	社長	求人募集の見直し			就業規則の見直し			健康経営の実践			就業規則の刷新			
19	IoT・DX推進 デジタル化による業務効率化	事務所	社長	光通信・VPN導入			DX支援講座参加			DX実践・成果報告			設備稼働可視化			
備考		<p>※本年度の環境経営計画の項目の大半は2023年度の継続であるが、その中で前年度から 実行中の潮工場の省エネ化のLED照明等の導入を優先した。</p> <p>※黄色にて塗りつぶしの項目は、次年度の推進・強化活動</p> <p>※評価について ○：実行 △：概ね実行 ×：不十分</p>														

7. 環境関連法規の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

承認	作成
(八木)	(大川)

【藤枝工場】

法規等の名称	適用内容	備考(規制基準値、その他)	遵守状況
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に 保全等に関する条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	工業専用地域(第4種区域) 機械プレス等 計39台	◎
・振動規制法 ・静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	工業専用地域(第2種区域の2) 機械プレス等 計23台	◎
・公害防止組織法	公害防止管理者(騒音・振動関係) の届出	非該当(用途地域により 特定工場に該当しない為)	—
・フロン排出抑制法	対象事業者該当	第一種特定製品の管理者	○
	対象設備の設置	パッケージエアコン 計8台	○
	対象設備の簡易点検	3ヶ月に1回以上	○
	定格出力7.5~50kWの設備の定期点検	3年に1回以上	—
	点検の記録	機器破棄後3年間まで保管	○
	フロン等の漏洩/報告の有無	無し/無し	○
・浄化槽法	浄化槽設置の届出	分離接触ばっき式 21人槽	○
	保守点検の実施/記録	年4回(2・5・8・11月)/3年間保管	○
	清掃の実施/記録	年1回(9/27実施)/3年間保管	○
	法定定期検査(11条検査)の実施	年1回(3/22実施)	○
	放流水質検査の実施	保守点検時実施	○
・廃棄物処理法 ・静岡県産業廃棄物 適正処理条例 ・藤枝市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板掲示(60*60cm以上)	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書・業者の認可証	○
	委託契約書の保管	5年間保管	○
	マニフェストの交付・保管	5年間保管(A/B2/D/E票)	○
	マニフェスト交付等状況報告書の提出・保管	5年間保管	○
	委託先の実地確認とその記録の保管	優良認定業者による免除有り	○
・PRTR法	保管施設管理責任者の設置		○
	対象事業者該当(届出義務)の有無	無	—
	第一種指定化学物質取扱いの有無	有(シンナーに含有のトルエン)	○
	使用量の把握	シンナー購入の管理	○
・消防法 ・志太広域事務組合 火災予防条例	保管場所	油類保管庫	○
	貯蔵危険物の届出義務の有無	有(少量危険物に該当)	○
	危険物の種類	第4類(工作油・潤滑油・シンナー)	○
	使用量の把握	保管庫の容量以下にて	○
・家電リサイクル法	保管場所	油類保管庫	○
	小売店への料金支払い、機器の引き渡し 自治体指定の方法で引き取り	引き渡し書類	○

【潮工場】

承認	作成
(八木)	(大川)

法規等の名称	適用内容	備考(規制基準値、その他)	遵守状況
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に 保全等に関する条例	特定施設からの騒音に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	市街化調整区域(第2種区域) 空気圧縮機等 計6台	◎
・振動規制法 ・静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設からの振動に関する 規制基準の遵守 特定施設の届出	市街化調整区域(第1種区域の2) 空気圧縮機 計1台	◎
・公害防止組織法	公害防止管理者(騒音・振動関係) の届出	非該当(届出している 特定施設が該当しない為)	—
・フロン排出抑制法	対象事業者該当	第一種特定製品の管理者	○
	対象設備の設置	GHPエアコン 計3台	○
	対象設備の簡易点検	3ヶ月に1回以上	○
	定格出力7.5~50kWの設備の定期点検	3年に1回以上	○
	点検の記録	機器破棄後3年間まで保管	○
	フロン等の漏洩/報告の有無	無し/無し	○
・浄化槽法	浄化槽設置の届出	小型合併式 10人槽	○
	保守点検の実施/記録	年3回(2・6・10月)/3年間保管	○
	清掃の実施/記録	適時(3/14実施)/3年間保管	○
	法定定期検査(11条検査)の実施	年1回(3/14実施)	○
	放流水質検査の実施	保守点検時実施	○

・環境関連法規の違反、訴訟等の有無

1. 遵守状況 : 当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
2. 更新時期 : 毎年7~9月に実施します。
3. 苦情等の有無 : 外部からの苦情は、過去3年間ありません。
4. 違反、訴訟等の有無 : 関係当局からの指摘及び利害関係者からの違反・訴訟は、過去3年間ありません。

・遵守状況の確認及び評価の結果

藤枝工場及び潮工場共に、2024年12月1日に順守状況を確認しました。

評価者:環境管理責任者 大川 悟

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

2024年12月1日

八木工業株式会社

代表取締役社長 大川 悟

1・見直し関連情報	項目	確認	必要に応じて評価・コメント記載	
	1	エコアクション21文書	○	2017年版ガイドラインへ移行済み
	2	環境経営目標及び目標達成状況	○	総排出量・原単位共に悪化している項目があり、更なる見直しが必要と考える。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	○	化石燃料の削減が進まない為、取り組み方法を見直す必要がある。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	○	特に問題ありませんでした。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	○	特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○	特に問題ありませんでした。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	○	IoT・DXによるペーパーレスや業務効率化を進めていく。
	8	その他(教育・訓練)	○	環境教育、消火訓練実施、IoT・DX推進セミナーへの参加

2・代表者による全体評価・見直し・指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)		<p>・前年度の藤枝工場に引き続き、潮工場内水銀灯のLED化、及びGHPの一部EHP化等により、二酸化炭素排出量の削減に貢献できた。今年度も既に潮工場GHPのEHP化工事を実施しており、更なる効果が期待できると思われる。</p> <p>・潮工場については、まだ一部GHPが残っている為、業績を見ながら来年度以降にて完全EHP化に向けて検討していきたい。</p> <p>・決算期と繁忙期が重なっていた為、決算期移行実施。6月決算から8月決算となった為、次年度以降の基準値や目標値の再設定を要す。</p>	
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有 (無)	2017年版ガイドラインへ移行済み
	2	環境経営目標・計画	(有)・無	決算期移行の為、基準年度見直し
	3	環境経営計画・取組項目	(有)・無	毎年見直し・実行
	4	環境に関する組織	有 (無)	変更無し
	5	その他のシステム要素	有 (無)	変更無し
	6	その他(外部への対応)	有 (無)	変更無し